

New OIé

次世代に夢を与える
教育情報誌

オーレ

2023 Summer

幼児教育から大学受験までの一貫教育



野田塾

70th
Anniversary

夏休み特集号

飛行機が飛ぶ仕組みを深く学んだら、 操縦がさらに面白くなりました。

野田塾がカンボジアに
11基目の井戸を寄付

野田塾の田島先生が全国第3位に!
全国模擬授業大会

夏休みを有効活用して、第一志望合格へ

私を変える!

合格への第一歩を踏み出す夏!

「Monoxer」先端のICTで効率的な暗記を実現!
定期試験での得点力を確実に伸ばす新アプリを導入

連載コラム「夢、一步」vol.15

金の斧 -イソップ寓話から-

連載マンガ

「のんちゃんデイズ」第14回

カンボジアからの手紙

理解できなくても、

受けとめ、認め合うことの大切さ

SPECIAL
INTERVIEW

あいち航空ミュージアム

つち や あき ひと

土屋 昭人さん



航空機産業の歴史や航空機の仕組みを楽しく学ぶことができます。

飛行機が飛ぶ仕組みを 深く学んだら、 操縦がさらに 面白くなりました。

つちや あきひと
土屋 昭人さん

今回の巻頭インタビューは、元航空自衛官の土屋昭人さん。パイロットをめざしたきっかけから、航空学生の実験と学生生活、戦闘機での任務やテストパイロットならではの体験まで、いろいろと振り返って語っていただきました。

SPECIAL INTERVIEW

Tsuchiya Akihito
1962年生まれ、山形県南陽市出身。航空自衛隊航空学生課程36期卒。F4操縦士として第6航空団(石川県小松基地)に配置される。1995年に無人標的機の運用研究に参画。その後、飛行開発実験団(岐阜基地)でテストパイロットとして勤務。2017年に定年退官し、2018年より「あいち航空ミュージアム」にて勤務。



航空自衛隊の航空学生から、
夢だったパイロットの道へ。

— 航空自衛隊のパイロットをめざしたきっかけは？

土屋 幼稚園のころから飛行機が大好きで、パイロットになりたいと思っていました。鳥が

と歯ですね。適性検査では二次元的な物の見方ができるかどうか問われます。そこを通過すると最後の三次試験で、実際にプロペラ機を操縦します。

— 試験で操縦するんですね！

土屋 はい、そこでエンジンがかかったときに、手が震えてしまう人やテンションが上がり過ぎてしまう人などは、すぐにわかってしまいます。

— そこはやはり冷静でない。

土屋 パイロットは目で見るだけでなく、もうひとつ自分の頭の裏から冷静に全体の状況を見るような感覚が必要です。とくに自衛隊のパイロットは、自機のほかに二機、三機と編隊を組んで飛ぶ状況で、さまざまな判断を求められます。ですから、まわりが見えなくなるような人は難しいのです。

**戦闘機のパイロットになるには、
一段上の勇気と覚悟も必要です。**

— 航空学生の生活はどうでしたか？

土屋 厳しいものでしたよ。二年間でパイロットの資質を身に付けるところですから。実際のフライトに必要な「決められた時間内で正確にノルマをこなす」ということを、たとえば毛布の畳み方とか私生活から叩き込まれます。それに体力が必要で、とにかく走りまわりました。また水泳も「飛行機からパラシュートで海に脱出する」とい

への道が開けました。

— 航空学生の倍率はかなり高いですが、ご自身の受験はいかがでしたか？

土屋 合格が七十人ぐらいのところに、四千人弱の受験者数でした。ただ筆記試験のレベルは高校卒業程度ですので、大学の受験勉強

うケースを考えると、長い時間を泳げないといけない。だから海で六時間ぐらい平泳ぎで浮いているという訓練もありました。

— その厳しい二年間を経てパイロットに？

土屋 そこからまた約半年の飛行準備課程を経て、約半年の初級操縦課程に入ります。プロペラの練習機を操縦し、最終検定試験に合格を修了した者は、本人の適性や希望を踏まえて、戦闘機や輸送機等の操縦課程に進みます。

— パイロットになられたときの感想は？

土屋 ウイングマークを取って、パイロットになった瞬間がとてうれしかったかといえは、実はそうでもないんです。本当にうれしかったのは初級操縦課程で初めて一人で飛んだときですね。教官から「よし、一人で飛んでいいぞ」と言われて、自分ひとりで初めて飛んだときの喜びは、今でも忘れられません。

— 戦闘機のパイロットに向いている人は？

土屋 まわりの状況を見られる人です。それから僚機と連携して飛べる空間認識力がある人です。戦闘機だと、お互いに大きな軌道で動きながら、離れたり近づいたりしないといけない。そのあたりは言ってもわからないところがあつて、できない人はできないんです。

— 努力でなんとかなるものではないですね。

土屋 そうですね。あとはそういう適性もさることながら、やっぱり自分の生死を賭けて国を守ることができるかどうか。戦いになったときに逃げるような人にはできませんか



初めて自分一人で飛んだときの喜びは、忘れられません。

強をしていた自分にはそれほど難しくありませんでした。航空学生の受験で特異なのは、その後にある二次試験の身体検査と適性検査です。

— それぞれ求められるものはなんでしょう？

土屋 身体検査で引っかかりやすいのは視力。とくに戦闘機は自分の撃ったミサイルが敵機を落とすことになるので、一段上の勇気と覚悟も必要です。

— 戦闘機F-4のパイロットになられて、大変だった任務は？

土屋 領空侵犯に対するスクランブル(緊急発進)ですね。私がパイロットになったころはまだ冷戦中で、ロシアもソ連でした。百回ぐらいスクランブルで上がりましたが、ソ連・ロシアの飛行機と対峙するのは、何回やっても緊張しました。

テストパイロットになって、飛行機がより面白くなりました。

——テストパイロットもされていましたが、こちらの任務はいかがでしたか？

土屋 テストパイロットのミッションをこなすには、より高度な飛行機の専門的な知識が必要になってくるので、一年間の座学を受講します。そこで飛行機が飛ぶ仕組みや特性の現れ方などをあらためて学んだことで、飛行機がより面白くなってきました。

——どういったところが面白いのですか？

土屋 この飛行機がこういう形をしているのは、どのような性能や特性を得るためにこのような形状にしたのか等、飛行機を見ただけで設計者の思想や葛藤がわかるようになります。また、このようにした方がより操縦しやすい、使いやすいとか、このような特性はあまりよくないから変える必要があるのではとか、みんなで見えを出し合いながら、より安全で使いやすい航空機を作り上げていくことでしょうか。

——テストパイロットで思い出に残っていることは？

土屋 技術者の方たちが作り上げた新しい装備品を、最終的に私が空で確認するわけですが、飛ぶときにみんなが見送りで手を振ってくれているんです。「頑張ってください！」という感じで。

——期待を一身に背負って。

土屋 成功して帰って、みんながバンザイをし

て喜んでいる姿を見たときは、本当に良かったなと思いました。技術者の方たちの喜びを肌で感じて、自分もすごく嬉しくなってきました。そういうのはやっぱり忘れられない思い出です。

——最後に『あいち航空ミュージアム』の見どころを教えてください！

土屋 まず『名機百選』。日本の飛行機の歴史に残る名機百機の精密なモデルが展示されています。年表のパネルと照らし合わせながら見ると、日本でこれだけたくさんの飛行機が作られてきた歴史がわかりやすく学べます。それから『ブルーインパルス』の機体の解説パネルも、航空自衛隊の協力を得て事細かに書かれているので、ぜひ見てほしいですね。天気の良い日は、屋上の展望デッキもおすすめです。



「レオナルド・ダ・ヴィンチの考えたヘリコプター」の再現模型

問題

カンボジアは、なんという半島にある国でしょうか。カタカナ5字で教えてください。

- 左の問いに正解された方の中から抽選で、土屋昭人さんのサイン色紙を10名様に、あいち航空ミュージアムペア（塾生＋保護者）入場チケットを10組（20名様）にプレゼントします。正解が分かった方は、nPadBOX、月例ナビ、野田塾公式Web「塾生専用ページ」からご応募ください。

※ご応募にはnCard+裏面の番号が必要です。

応募の締め切りは8月16日（水）午前11時です。



🎁 読者プレゼント